

中央アジア5カ国副大臣クラス御一行が当局小樽管内の道路防災事業の現場を訪れました。



平成28年10月21日に中央アジアの5カ国（カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン）から来道された運輸・物流担当の副大臣クラス御一行が、当局小樽管内で実施した道路防災事業の現場を訪れました。

一行は前日20日に札幌で開催された「中央アジア物流・運輸戦略フォーラム」（主催：JICA 北海道）に出席するために来道されました。

上記中央アジア5カ国では、ソ連時代に建設された道路や橋梁等のインフラの老朽化が課題である他、キルギスやタジキスタンは山岳地帯であるため落石や雪崩等を防ぐための道路防災対策は重要な課題となっています。

一行は課題解消の参考とするため、自国と同様な積雪寒冷地である北海道の道路防災事業の現場視察を希望されたことから、今回の訪問が実現しました。

一行は、前日に降った雪がまだ残る肌寒い中、当局職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

積雪寒冷地である北海道で実施している当局の道路防災対策が、少しでも中央アジア5カ国の道路防災対策の改善に貢献できれば幸いです。



（写真：JICA 北海道及び一般社団法人北海道開発技術センター提供）